

道路附属物-落石防止網(ロックネット)・落石防護柵(ストーンガード)設置工工法比較表対象技術選定表

工法比較表対象技術 新規対象技術(調査中) 削除技術 令和7年6月現在

※「活用状況(本省)」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上 (注)NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	A V G	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用効果評価	活用状況(本省)※	掲載期間終了技術(終了時期)	生産供給体制(機械保有台数等)	備考	NETIS HP リンク先(注)
1	プラスネット工	HK-150003	VR	本工法は、落石発生の恐れのある斜面にワイヤロープを格子状に張り、斜面に点在する浮石・転石の初期始動を予防して現位置にて押え込む発生源対策工である。本工法の活用により、コスト縮減、工期短縮が期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置		有			技術提供可能地域：全国、販売拠点：東京製網(株)九州支店、納期：2週間程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-150003
2	GMネット	KK-170038	VE	本技術は耐候性ポリエステル繊維製のラッシュェル網にモノフィラメントを形状保持材として挿入した複合ポリエステル製ラッシュェル網の技術であり、従来はひし形金網を使用していた。本技術の活用により工期短縮、品質、施工性の向上が期待できる。	材料	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置		有			技術提供可能地域：全国、販売拠点：福井県、納期3～4週間程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-170038
3	落石予防工フリーネット工	SK-190004	A	本技術は、落石防護網を端部アンカーで固定する工法であり、従来では端部アンカーの設置には、更に張出しロープとアンカーが必要となっていた。本技術を活用することで張出し部が無くなり、経済性の向上、工程の短縮、周辺環境への影響の低減が期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置					全国供給可能		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-190004
4	オープンロックネット工法	SK-210004	A	本技術は、ポケット式落石防護網の支柱間隔を現場条件に応じて最大15mまで拡張できるため、安定した支柱位置を選定し、落石の衝突リスクを大きく軽減できる。また、支柱背面に落石衝撃補強機構を設けている。支柱本数を削減することで施工性も向上できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置					全国供給可能		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-210004
5	カーテンネット工(CN工法)	SK-980029	VG	本技術は、「弾性域内設計による高エネルギー吸収落石防護網工」であり、従来は「汎用の落石防護網」で対応していた。本技術の採用により「急峻地形へ対応可能な高エネルギー型落石防護網工」「メンテナンスフリー化によるランニングコストの削減」が期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置			□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：東京製網(株)九州支店、納期：1.5ヶ月程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-980029
6	高耐久STKネット	QS-030075	VG	耐久性に優れ錆び腐食に強いポリエステルを用いた落石防護ネット工法。	製品	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工				□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：全国に34社の代理店で対応、納期：1ヶ月程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-030075
7	ワイヤーネットワーク工法	HR-070023	VG	ワイヤーネットワーク工法は、縦横と斜め方向に張ったワイヤロープにテンションバー(張力維持装置)を付けて、寒暖差によるワイヤロープ張力の変動を解消し、転石や浮き石、風化岩盤を安全確実に押さえ込み、石の移動や滑落を抑止する落石発生源対策工である。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置			□	○ (H30年3月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：熊本県、納期：1ヵ月程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-070023
8	マイティーネット工	KK-100030	VG	本工法は、「斜面保護工法」であり、従来は「法枠工」等で対応していた。本技術の採用により、「法面成型等を行う事なく、落石さらには落石にともなう小規模斜面崩壊を防止」「足場等の仮設工が不要」「軽量部材でありモノレールによる資材運搬」等の効果が期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置	[活用促進]	有		○ (R3年3月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：東京製網(株)九州支店、納期：3週間程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-100030
9	J-ワイド伏工	KT-230156	A	本技術は、格子状に配置したワイヤロープと高強度な金網を一体化させ、交点部に打設したアンカーによって落石の発生を予防する技術で、従来は、ワイヤロープ伏工で対応していた。本技術の活用により、アンカーおよびクリップ類を削減できるため、経済性の向上が図れる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置					技術提供可能地域：全国		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230156
10	強靱防護網	HR-230013	A	本技術は、高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網で、従来は従来型ポケット式落石防護網で対応していた。本技術の活用により大規模な落石エネルギーに対応でき、落石対策工のコスト縮減および品質の向上が期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防止網(ロックネット)設置工	金網及びロープ設置					／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-230013
11	S・シールド	HK-170009	VR	S・シールドは落石を対象とした防護柵工である。落石を受け止める柵面に衝撃を吸収しながらスライドする機構を設けることで、落石エネルギーを効率よく受け止め、落石災害を防止することができる。	製品	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工			有			技術提供可能地域：全国、販売拠点：東京製網(株)九州支店(福岡県北九州市小倉北区西港町61-2)、納期：受注後2ヵ月		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-170009
12	バイルロックフェンス-Plus工法(PRF-Plus工法)	CB-170016	A	バイルロックフェンス-Plus工法は、横ロープ定着部に緩衝機構を有した三重鋼管合成杭形式の落石防護柵であり、独自の性能確認実験により、落石防護柵への適正を評価し採用した高強度金網を適用したことで、落石吸収エネルギー210kJまで対応可能となっている。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工						技術提供可能地域：全国、販売拠点：(株)トイエス福岡支店 福岡県福岡市博多区祇園町1-28 4階、納期：ご注文より30～40日		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-170016
13	LDB-500	KT-170074	A	本技術は、小変形の落石防護柵で従来は落石防護柵付き重力式擁壁で対応していた。本技術の活用により、落石衝突面をコンクリートからワイヤロープとネットに変更し、従来技術よりも小断面の擁壁と併用して設置することで切土量を抑制できるため工程短縮が図れる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工						技術提供可能地域：全国、販売拠点：東京、納期：標準2～3ヵ月(繁忙期は都度確認)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-170074
14	TFバリア	KT-180002	A	本技術は、既設構造物上に設置する落石防護柵で従来はポケットのある重力式擁壁で対応していた。本技術の活用により、柵を設置する際に既設構造物の撤去作業が発生しないため、経済性の向上が図れる。また、既設構造物の撤去作業が発生しないため、工程の短縮が図れる。	工法	共通工	擁壁工	コンクリート擁壁工						技術提供可能地域：全国、販売拠点：東京、納期：標準2～3ヵ月(工場の稼働状況により変動)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-180002
15	ビストフェンス	HK-180009	A	ビストフェンスは面材が大きく張り出すことにより落石エネルギーを吸収する落石防護柵工である。新たに採用したEAロープとビスト金網で落石エネルギーを柔らかに受け止め、強固な部材を必要としない構造とし、経済的にも優れる。	製品	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工						技術提供可能地域：全国、販売拠点：販売拠点：東京製網(株)九州支店、納期：受注後約2.0ヵ月		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-180009
16	IXI(イクシー)フェンス	HR-190003	A	本技術は、高強度金網と高耐力支柱で構成された高エネルギー吸収型の落石防護柵で、従来は従来金網とH鋼支柱で構成された落石防護柵で対応していた。本技術の活用により、落石エネルギーの吸収性能が向上し、工程の縮減および施工性の向上、環境負荷の軽減が期待出来る。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工						技術提供可能地域：全国、販売拠点：(株)総合開発 インフラ本部(香川県観音寺市瀬戸町2丁目14-16)、納期：注文後30～40日程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-190003
17	ライトバリア	CB-210004	A	本技術は、軽量かつシンプルな構造で、最大73kJまでの落石エネルギーに対応可能な小規模落石防護柵である。従来は、従来型落石防護柵で対応していた。本技術を活用することにより、落石防護柵設置工において、経済性・工程・施工性等が大きく向上する。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工						技術提供可能地域：全国、販売拠点：長崎県・兵庫県、納期：約2ヵ月		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-210004
18	ウルトラ ライティフェンス(ULF)	HR-120013	VG	本技術は、落石や崩壊土砂から保全対象物を防護し、また雪崩を予防する技術で、従来はコンクリート製重力式擁壁で対応していた。本技術の活用により工期短縮、経済性及び施工性が向上し、工場製品で景観色仕様が可能な為品質の安全性、周辺環境との調和に期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工		[活用促進]	有		○ (R5年3月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：(株)ライテック福岡事務所(福岡県福岡市博多区祇園町1-28 4階)、納期：注文後30～40日程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-120013
19	ハイジュールネット工法	QS-080010	VG	大きな落石エネルギーをプレーキエレメント(緩衝装置)を用いて確実に吸収し、耐久性が高く部分的な補修ができて維持管理が容易な高エネルギー吸収型落石防止柵(ハイジュールネット)です。日本の地形に応じた支柱割付が可能であり、柵高のメニューも取り揃えています。	工法	付属施設	防護柵設置工			[H30評価促進]			○ (H31年3月)	技術提供可能地域：全国、製造場所：兵庫県尼崎市		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-080010
20	イーザーネット工法	HR-050024	VG	落石エネルギーE=200kJまで対応可能な耐候性に優れ軽量で安価なポリエチレン製ネット(PEネット)同等品以上の素材を用いた簡易型落石防護柵。経済性・施工性に優れ、取替えや再利用が簡単であり、汎用プラスチックのためリサイクルも容易。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工		[活用促進]		○	○ (H29年4月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：(株)総合開発 インフラ本部 香川県観音寺市瀬戸町2丁目14-16、納期：ご注文より30～40日		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-050024
21	ループフェンス	SK-020001	VG	本技術は高エネルギー吸収型の落石防護柵で、従来の落石防護柵では落石エネルギー50～100kJ程度に対応するものでしたが、本技術の活用により落石エネルギー1000kJまで対応することができます。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工		[活用促進]		□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：長崎県・兵庫県(納期約2ヵ月)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-020001
22	ARC(アーク)フェンス	CB-020004	VG	この工法は、落石対策工事などで小規模な落石から保護対象物を防護し、人力施工・低コスト・工期短縮を実現するエネルギー吸収型落石防護柵です。性能実証されたエネルギー(100kJ)までを適用限界としています。小規模落石の本設柵や仮設柵にも幅広く使用できます。	製品	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工		[H29評価促進][活用促進]		□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域：全国、販売拠点：福岡県直方市上頓野4611-6、製作納期1ヵ月程度		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-020004

道路附属物-落石防止網(ロックネット)・落石防護柵(ストーンガード)設置工工法比較表対象技術選定表

工法比較表対象技術

新規対象技術(調査中)

削除技術

令和7年6月現在

※「活用状況(本省)」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上 (注)NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理 番号	技術名	NETIS番号	A V G	アブストラクト	区分	分 類 1 Lv.1	分 類 1 Lv.2	分 類 1 Lv.3	分 類 1 Lv.4	技術の位置 づけ	活用 効果 評価	活用 状況 (本省) ※	掲載期間 終了技術 (終了時期)	生産供給体制(機械保有台数等)	備 考	NETIS HP リンク先(注)
23	ハイパワーロックフェンス工法 (HRF工法)	HR-010009	VG	落石エネルギーE=1000kJ程度まで対応可能な高エネルギー吸収型落石防護柵であり、落石以外に崩壊土砂の衝撃力、堆積土圧を考慮する場合には、落石・崩壊土砂兼用柵としても対応可能。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工				○ (H29年4月)	技術提供可能地域: 全国、販売拠点所在地:(株)総合開発 インフラ本部 香川県観音寺市瀬戸町2丁目14-16、納期:ご注文より30~40日程度			https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-010009
24	リングネット工法	HR-990001	VG	リングネット工法は、高エネルギー吸収型の落石防護柵で、柵構成部材の強度および変形性を利用し、これらの組合せによって柔軟な構造とすることにより、最大3,000kJまでの高エネルギーを吸収する性能を有しています。平成8年7月にスイス連邦より日本へ技術導入されました。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工				○ (H26年10月)	技術提供可能地域: 全国、販売拠点: 東京、納期: 標準2~3か月(繁忙期は都度確認)			https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-990001
25	ダブルフェンス	CB-230023	A	本技術は最大753kJの落石エネルギーに対応可能な二重阻止面をもつ高エネルギー吸収型落石防護柵であり、従来技術は金網が一重の高エネルギー吸収型落石防護柵で対応していた。本技術活用で効率的なエネルギー吸収が可能となり、材料・施工費の縮減や工期短縮が期待できる。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工					技術提供可能地域: 全国、販売拠点: 長崎県、兵庫県、納期: 約2か月			https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-230023
26	TSガードフェンス	HK-240009	A	最大で550kJまでの落石エネルギーに対応可能な鋼管杭式防護柵工で、従来は落石防護擁壁及び落石防護柵設置工で対応していた。本技術の活用により地山掘削やコンクリートの養生期間が不要となり、工期の大幅短縮や経済性向上が期待出来る。	工法	付属施設	防護柵設置工	落石防護柵(ストーンガード)設置工					／			https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-240009